

青少年にボランティアの体験を!

ボランティア活動を通して得られる“感性”、他では得られない“こころの学び”に注目して、ボランティアを教育活動としてとらえ、青少年に体験の機会を提供することが増えています。

ボランティアの原則の一つは「自発性」ですから誰かに強制されてやる活動ではありません。「体験」はボランティア活動のあくまで入口です。それでも出会いや学びがあり、社会とのつながりが見えたり自分に自信をもつきっかけにもなります。さらにその後の継続的な活動につながるかもしれません。きっかけとして「体験」を試みることで、青少年とっては、そこがスタート地点なのです。



ボランティア活動を試みようかな? してみたいな、と思ったら・・・

活動を始める時期も、場所も、きっかけも様々でよいのです。活動の領域も、今日では、福祉分野だけでなく、自然保護、環境保全、教育、文化芸術、人権問題、国際交流など多岐にわたっています。自分の関心や特技を生かしながら肩肘をはらずにはじめてみませんか。

必要なのは、最初の一步を踏み出す勇気なかもしれません。最初は不安に思う人が多いようですが、不安なときこそたくさんのご意見を吸収して大きく成長できるチャンスです。あなたも扉をたたいてみませんか。はじめの一步はたとえ小さくても、きっと次への大きなステップになるでしょう。

次のページへGO!

参考になる事例とお役立ち情報がありますよ!

あなたにぴったりの活動を見つけるためには?

まず、あなたがどんなことに興味・関心があるのか、自分の趣味や特技などを活かして活動できるかどうかを考えてみましょう。例えば、子どもと遊ぶのが好きだったら、地域の子ども会や児童館などで、お年寄りの役に立ちたいと思うなら福祉施設などで活動できます。また、音楽が趣味だったら演奏することで、スポーツが得意だったら一緒に運動したり指導することで活動できます。自分の生活スタイルや性格などに合わせて、無理なくぴったりな活動を探してみましょう。



どんな活動があるの?



ボランティア活動は様々な分け方が可能ですが、ここでは活動の領域ごとに紹介します。

じっくりお付き合いするのが得意 → 福祉分野

高齢者や障害者、児童のための福祉施設で日常生活の援助、食事・入浴などの介助、行事の手伝い、話し相手、車椅子の移動介助、外出介助、点訳・手話・朗読・要約筆記、福祉施設の美化・清掃、施設の運営協力など、不登校児童・生徒の心の悩みを聞く相談相手など

いのちと健康を守りたい → 医療・保健分野

病院ボランティア、アイバンク・骨髄・腎臓バンク登録、病気や医療の相談にのる、リハビリテーション介助、病院内外の美化・整備など

地球を守る・自然を守りたい → 環境保護

道路・河川・公園などの清掃、リサイクル活動(空きビン、缶、古紙、牛乳パック等)、森林の保護、自然観察会や調査活動への参加、野鳥や希少動物の保護など

異文化コミュニケーションをしたい → 国際協力・交流

外国人との相互理解・交流、外国語通訳、日本語ボランティア、留学生支援、ホームステイの受け入れ、海外で活動するNGOへの参加・協力など

文化的な趣味や特技をフル活用したい → 文化芸術の伝承・発信

美術館・博物館・動物園等での活動、伝統文化や郷土芸能の継承、文化財の発掘作業への参加、民話や童話の語り聞かせ、絵画・写真・音楽・書道など趣味や特技の提供など

とにがく子どもが好き → 青少年活動や教育分野

子どもの世話、遊び相手、キャンプのリーダー、スポーツ活動の協力、非行や犯罪を防止するための活動、子どもたちの遊び場(プレーパーク)・居場所づくりなど

時間がないけれど何かしたい → 収集・募金活動

古切手、書き損じ葉書、使用済みテレホンカード、ベルマーク、ロータスクーボンなどの収集、衣料品・医薬品・文房具などを集めて海外に必要な国への提供、募金、災害募金、国際ボランティア貯金など

身体を動かすのが好き

日本で、海外で災害救援活動、キャンプのリーダー、野外活動やスポーツの指導など